

○研究論文○

1. 小出浩之. 青年期(思春期妄想症)の心気・身体関連症状, 精神科治療学 17(6): 711-715.
2. 高岡 健, 高田知二. 青年期に映る「うつ」の時代, 教育と医学 50(5): 418-427.
3. 高岡 健, 高田知二. 分裂病型人格障害の内包と外延, 精神医学 44(5): 563-570.
4. 高岡 健. ひきこもり — その脱精神医学化のために, 病院・地域精神医学 44(4): 430-434.
5. 植木啓文, 林 美朗. Milnacipran と lithium carbonate の併用が効果的であった気分変調性障害の 1 例, 臨床精神薬理 5(増): 163-168.
6. 飯田 眞, 植木啓文. Friedrich Mauz:Psychiatrische Schriften, 精神療法 28: 761-762.
7. 古川壽亮(名古屋市立大学), 竹内 浩, 金井高広, 廣江弘隆, 吉村玲児, 今泉寿明, 原井宏明, 水川六郎, 森 信繁, 関口隆一, 亀井健二, 稲田泰之, 三木和平, 植木啓文, 橋元 良, 今野 涉, 山口浩資, 増子博文, 中野和広, 尾崎 茂, 松原公護, 平井利幸, 北村俊則, 藤原 豊, 米田一志, 中島 亨. 感情障害長期経過多施設共同研究(原著論文), 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費による 13 年度総括研究報告書, 感情障害の薬物治療ガイドライン作成とその実証的研究: 63-66.
8. 高田知二. 身体疾患とメンタルヘルス:病とともに生きるということ, 精神医療 27: 98-107.
9. 林 美朗. 異本病草紙の伝本に就いて, 日本医史学雑誌 48(1): 67-79.
10. 林 美朗, 植木啓文. SSRI(Fluvoxamine)はどのようなうつに効くか? — 文献的考察, 臨床精神薬理 41(増):85-90.
11. 林 美朗. 異本伊勢物語本文の種々相について, 国語国文研究 121: 1-18.
12. 柴田明彦. 治療経過からみた神経性無食欲症の中・長期経過に関する臨床精神病理学的考察, 精神神経学雑誌 104(8): 656-689.
13. 別府悦子, 葛谷仁美, 山田英子. 多動傾向を示す子どもの発達と支援 — アスペルガー症候群と診断された事例をもとに —, 中部学院大学・中部学院大学短期大学部研究紀要 第三号.
14. 野寄 理. アルコール教育とアルコール依存症の予防, ぎふ精神保健福祉 39: 59-70.
15. 田伏英晶, 内藤 宏, 古川壽亮, 尾崎紀夫. 定型抗精神病薬から risperidone への緩徐なスイッチングが有効であった慢性精神分裂病の 3 症例, 臨床精神薬理 5(増): 297-302.
16. 澤 たか子, 大響広之, 阿比留 烈, 古橋忠晃. 青年期にみられる Imaginary Companion について, 精神神経学雑誌 104(3): 210-22.
17. 浦崎 武. 自己同一性と就労の問題をもつアスペルガー症候群の男性の事例, 発達 89: 95-102.
18. 浦崎 武. 統合保育における自閉症児との関係性の成立, 名古屋芸術大学短期大学部研究紀要 34: 25-35.
19. Hirofumi Ueki, Christian Holzapfel, Kaei Washino, Masato Inoue, Naoshi Ogawa, Toshiaki Furukawa. Concordance between self-and observer-ratings on Kasahara's Inventory for the Melancholic Type Personality, Psychiatry and Clinical Neurosciences 56: 569-574.
20. Naiki T., Nagaki M., Shidoji Y., Kojima H., Imose M., Kato T., Ohishi N., Yagi K., Moriwaki H.. Analysis of gene expression profile induced by hepatocyte nuclear factor 4alpha in hepatoma cells using an oligonucleotide microarray, J・Biol・Chem 277(16): 14011-9.